



ホールマーカー

Hallmarker シリーズ

その検査ソフト、 見つけるべき不良が見えていますか？



検査結果がこの様になって
見つけるべき不良が埋もれていませんか？

Hallmarker シリーズなら

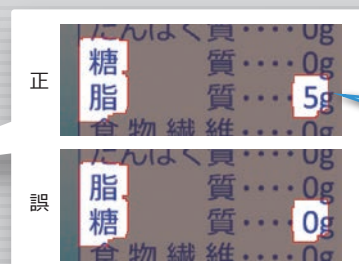
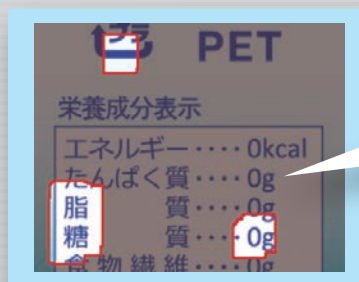
印刷物とデジタルデータの検査でも

単面と面付けの検査でも

大量ページの自動検査でも



DTPから入稿・印刷・製版・刷版・納品での、あらゆる工程での検査でも



不良が見える！

そして、あらゆる工程で検査できるということは

あらゆる工程で印刷物の品質を保証できるということです！

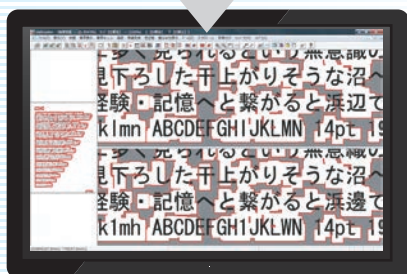
① 見つけたい不良が「見える」一歩先を行く唯一の検査エンジン搭載

一般的な検査機の抱える問題点

DTPから印刷までの工程の間には、
同じ文字にここまでの変化が生じています



一般的な検査ソフトはこの差を全て不良だと検出し
検査結果はこの様になってしまいます。



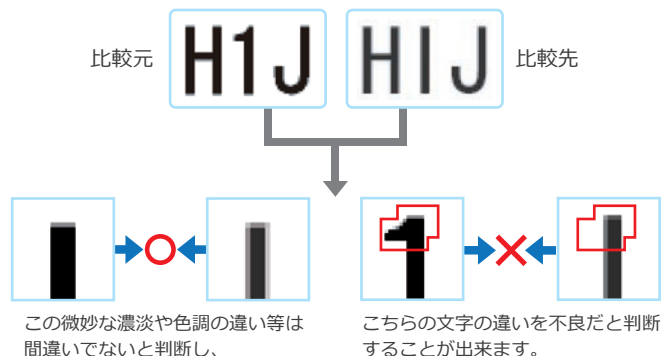
差のある部分が赤枠で囲まれ不良箇所として表示されています。

見つけるべき不良が埋もれ
「色々な組み合わせの検査が可能」と言いながら、
実際の現場では「不良を見つける」ことが出来ません。
多くの一般的な検査ソフトが抱える問題がここにあります。

そこで!

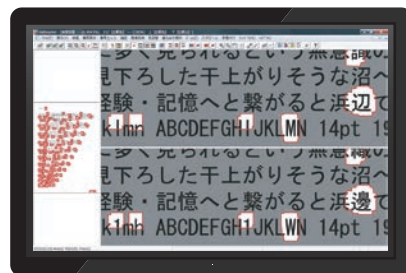
アイマイン・エンジンの場合

例えばこのような比較検査をアイマインが処理すると…



その結果

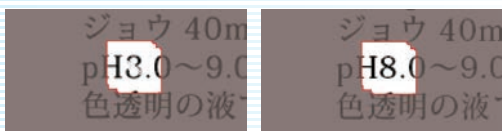
**「その時見つけるべき不良を見つける」という、
検査ソフト本来の役割を果たすことができます。**



② 「不良が見える」検査結果で習熟度に関係なく誰でも不良を判断

差のある部分が枠で囲まれ不良箇所として表示される、実際の検査結果表示画面を掲載しています。

文字の欠け



食料品の成分表示ミス



見逃しがちな小さなゴミ



フォントの間違い



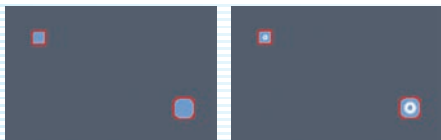
色調の不良



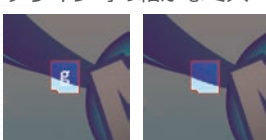
印刷機の不具合



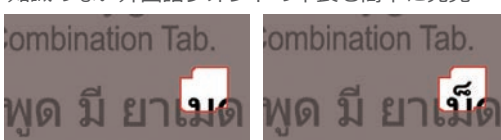
印刷時の汚れ、傷など



デザイン時の細かなミス

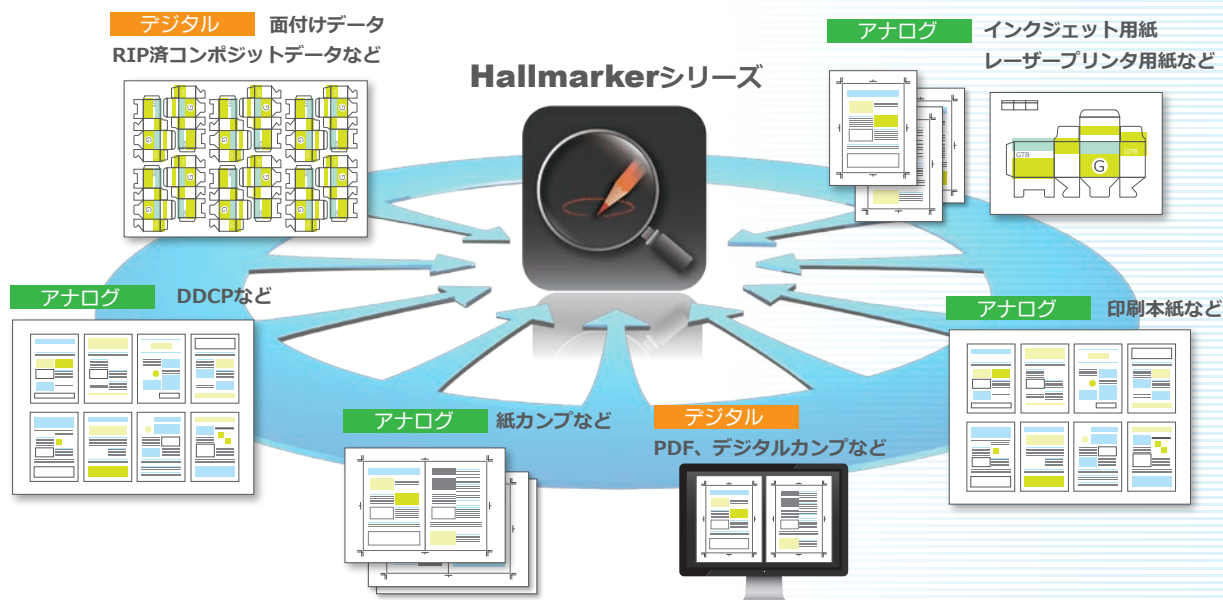


知識のない外国語フォントの不良も簡単に発見



③ DTPから入稿、製版・刷版、印刷、納品の全ての工程で検査を可能に！

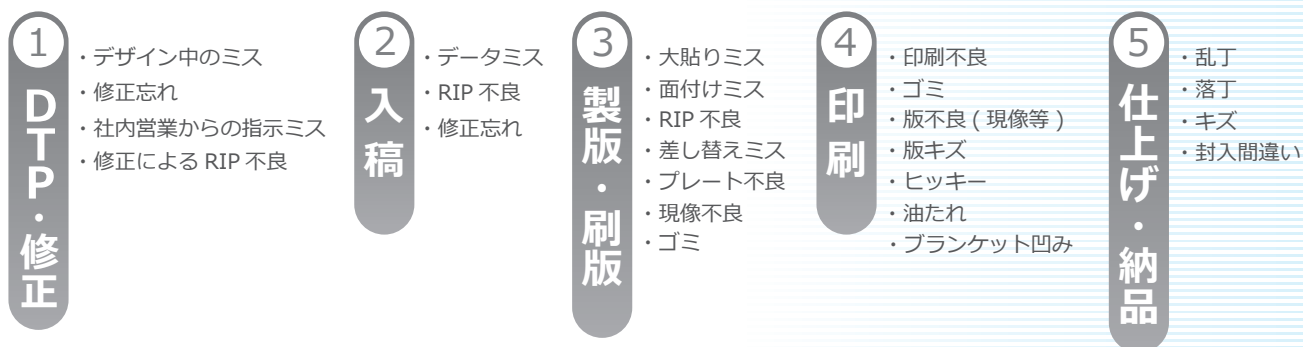
他のエンジンが真似できないこのアイマインの特性により、検査対象がデジタルデータでも印刷物でも、単面でも面付けでも、組み合わせを気にすることなく DTP から印刷・納品までのあらゆる工程で検査出来るようになりました。



※この冊子では紙に印刷されたものを **アナログ** デジタルデータの状態のものを **デジタル** と呼んで行きます。

あらゆる工程で検査が可能になるという事は、
あらゆる工程で印刷物の品質を保証出来るということです。

④ 各工程で全ての不良を取り除き、事故を未然に防ぎます！



その積み重ねは確実にクライアントの印象を変えて行きます。

まずはシリーズ共通の代表的な機能をHallmarkerでご紹介

シリーズの基本的な機能を詰め込んだソフト。デジタル対紙カンパ等、様々な媒体・大きさ・形状の検査に対応したオールマイティな1本。



Hallmarker

ホールマーカー

検査タイプ
手動検査

検査可能な組み合わせ

デジタル	↔	デジタル
デジタル	↔	アナログ
アナログ	↔	アナログ

基本的な2枚の比較検査

原稿ならスキャンして、データならそのままファイルを開き、検査を開始するだけ。2枚を比較し差異を枠で囲んで結果表示することが基本的な機能です。

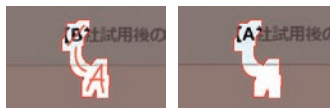


修正指示入りの初校



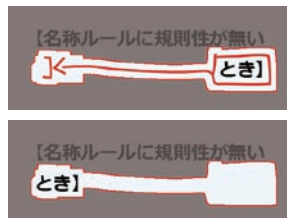
修正済みの再校

検査結果をビューワーで確認



検査により差異の検出された部分は、指定した色で囲まれて表示されます。DTPや入稿チェックでの修正指示が、きちんと反映されているかを確実に検査確認することができます。

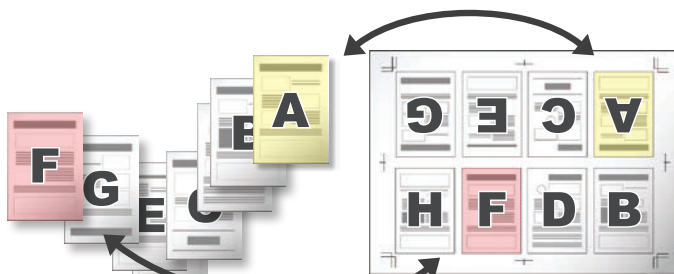
差分エリアの強調表示



差異の無い部分の色調に明暗を付け更にハッキリと差異を確認したり、比較元・比較先画像を重ねて交互に表示、実際のアオリ検査以上に画面でハッキリと差分を確認することもできます。

単面とページ面付けの検査

面付けされた比較先から自動で位置を検出、検査が開始されます。
回転していることも自動で判断し、回転方向を合わせて検査を進めます。

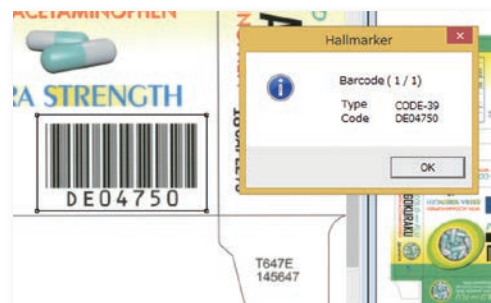


単ページゲラ

ページ面付け済み校正紙

バーコード検査にも対応

バーコードのデコード機能で内容の確認が可能です。



対応バーコード

EAN-13、UPC-A、UPC-E、EAN-8、Code128、Code39、Interleaved2 or 5、QR Code

単面と多丁付けの検査

比較元の原稿で検査したいエリアを指定するだけで



比較元の単面



多丁付けされた比較先の中に貼付けられている単面イメージを自動的に全て検出し検査します。

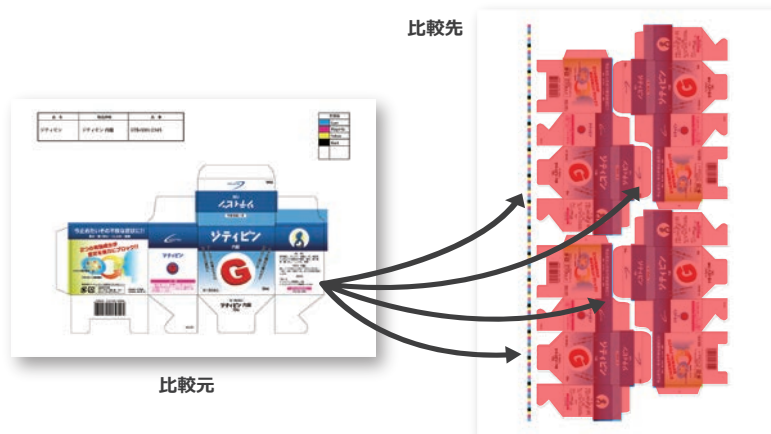
比較先の多丁付け



複雑な形が入れ子に面付けされている場合

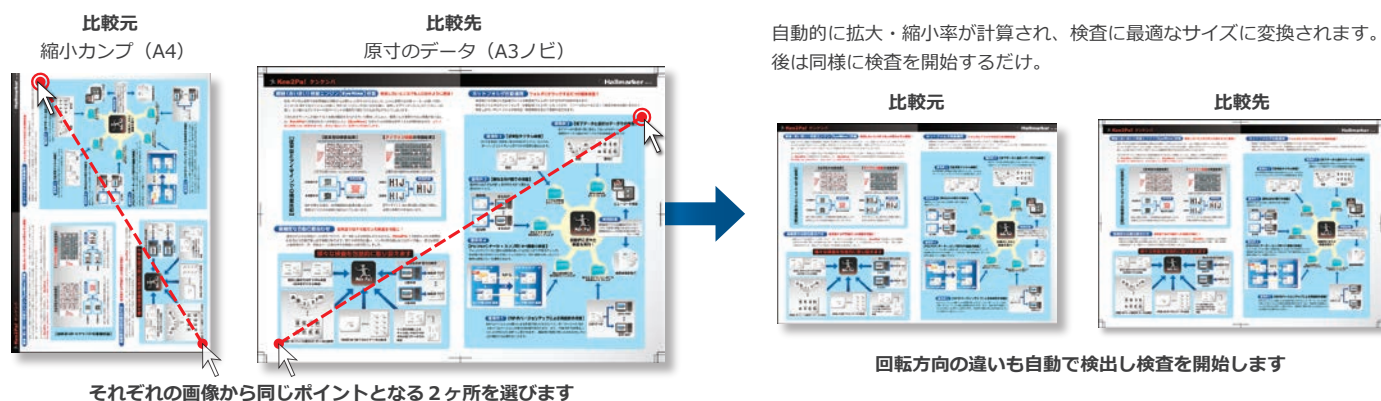
パッケージの様な複雑な形でも、比較元に簡単なエリアを指定すれば、自動で比較先の中から検査すべき場所を検出、回転方向も自動で認識し全面に対し検査が開始されます。

また、次回の検査から検査ファイル名と連携して検査エリアを呼び出し、時間を短縮することも可能です。



回転しているサイズの違う原稿

検査対象の内容が同じでも、サイズ・方向が大きく違う場合があります。このような場合でも、画像編集機能で簡単に検査に適したサイズに変換し検査することが出来ます。



検査結果はモニターで確認、印刷・共有して確認、承認機能やログイン管理機能で安定した検査体制も構築

●簡単に結果を確認、見逃し無し



●結果を簡単に共有

結果確認ソフトは無料・配布自由です。離れた部署やクライアントとフォルダやメールで同じ結果を共有・確認できます。



●承認スタンプ機能で記録も含む検査体制の強化

一次検査、二次検査と進んで行く過程で、各担当者が不良箇所に対し、不良の種類をタグ付けしたり、コメントを記入することが出来る「承認スタンプ機能」も搭載。

検査品質の向上だけでなく、記録作成を含む、管理体制の強化も可能となります。

●権限別のログイン機能で一定の検査品質を維持

システム管理者、作業担当者、承認権限者など、現場の状況に合わせ、アカウント別にログイン管理する機能により、不用意に検査設定が変更されることを防ぎ、一定の検査基準を保つことが出来るようになります。



ホールマークの検査精度はそのままに、大量ページ物の自動検査を実現したソフト



HallmarkCenter ホールマークセンター

検査タイプ
自動検査

検査可能な組み合わせ

デジタル	↔	デジタル
デジタル	↔	アナログ
アナログ	↔	アナログ

例えば1000ページのカatalogを目視で比較検査されていたお客様の場合、検査開始～結果の判断、全ての校了が完了するまでの時間を見てみましょう。

従来の目視での検査…



30時間程度



HallmarkCenterを用いた検査

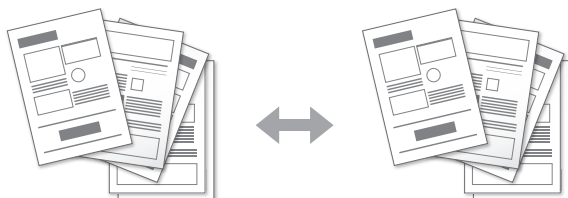
8時間半程度

約21時間半の短縮を実現 ※

ホールマークセンターで自動検査可能な多ページ印刷物の組み合わせ一例 (一部オプション)

単ページ

単ページ



デジタルデータ

デジタルデータ

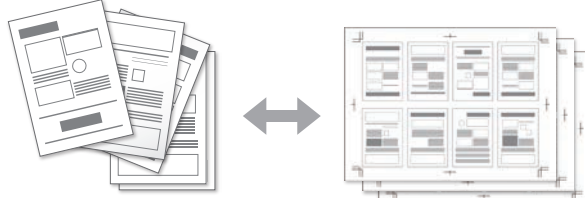
印刷物

印刷物

全て検査可能

単ページ

面付け



デジタルデータ

デジタルデータ

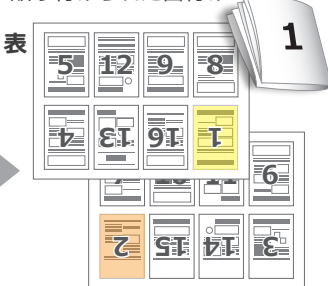
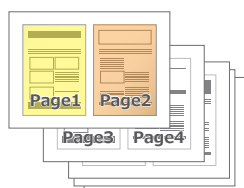
印刷物

印刷物

全て検査可能

見開き

折り方により表・裏に分かれて
貼り付けられた面付け



デジタルデータ

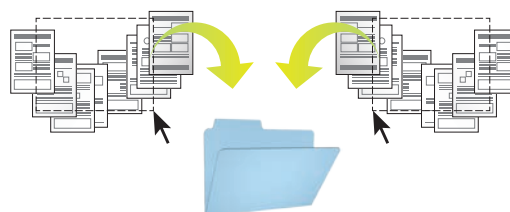
デジタルデータ

印刷物

印刷物

全て検査可能

しかも多ページでもフォルダにドラッグするだけで
自動検査が可能！





Ken2Pa! ケンケンパ!

検査タイプ
自動検査

検査可能な組み合わせ

デジタル ↔ デジタル

従来の【初校】対【再校】だけでなく…

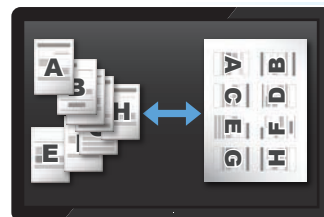
従来の検査可能条件
・同じサイズ
・同じRIP



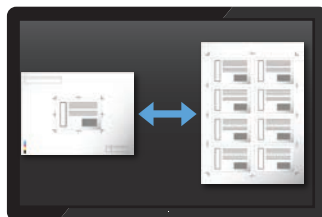
異なるRIPメーカー



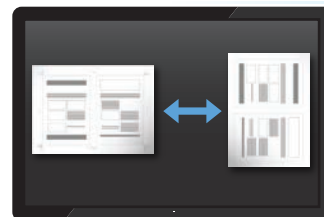
【単面】対【面付け】



【単面】対【多丁付け】



サイズ・貼り付け方向の違い



デジタルデータ間の検査でありながら、これら全ての検査に対応！

検査用フォルダは自動監視フォルダになっており、ドラッグ＆ドロップで自動検査を開始します。

上記の様な、様々な異なる種類のデジタルデータ間の検査が可能な【ケンケンパ!】では、この検査用フォルダも、用途や検査精度に合わせて複数作成でき、様々な検査を効率良く行うことが可能です。



デジタル検版用



異なるRIPエンジン
間での検査用



面付け検査用



異なる環境間
での検査用



異なるRIPバージョン間
での検査用



しかもフォルダにドラッグするだけで
自動で検査がスタート!



印刷物検査機・検査システム

コレクトアイ
CorrectEye ファミリー

検査タイプ
手動検査

検査可能な組み合わせ

デジタル ↔ アナログ
アナログ ↔ アナログ

かんたんに

高精度に

高速に

時間に追われる印刷工程の中でひとつひとつの検査時間を確実に短縮！

① 印刷物をセットして…



② あとはタッチするだけで…



③ 検査が完了します



CorrectEye SIS

非接触スキャナー入力 四六全版

Wet 対応

カンパと本紙、前回見本とブルーフなどを一度に撮影台に置けば、ワンタッチで入力から検査までを完了。従来の手順・手間と比較すると、現場での検査工程の大幅な短縮が可能となります。また、非接触の入力機ではウェットな印刷物の検査等にも有効に活用して頂けます。

最大B0からコンパクトなA3サイズまで豊富なラインナップ



CorrectEye BRAVO

カメラ入力 菊 半

Wet 対応



CorrectEye A3+

カメラ入力 A3ノビ



CorrectEye with CCD Scanner

シートスレースカナール入力 B0

DTPから印刷までの各工程に合わせた、最適なHallmarkerシリーズ製品

Hallmarkerシリーズは、DTPから入稿、修正、製版、刷版、印刷、仕上げ、納品まで、あらゆる工程での検査にご利用頂けます。これまでにご紹介させて頂いた各製品から、経験豊富な営業スタッフが、お客様のお困りの内容や、検出したい不良・欠陥の種類、希望する結果に合わせ最適な製品をご提供させて頂きます。どうぞお気軽にご相談下さい。

ホールマーカ―シリーズはどの製品でも各工程に対応しておりますが、ここでは特に有効に活用して頂ける推奨の使用工程をフローの中に表示させて頂きました。



シリーズの基本的な機能を詰め込んだソフト (3 ページ)



大量ページ物の自動検査を実現したソフト (5 ページ)



デジタルデータ検査に特化したソフト (6 ページ)



印刷物を置いてボタン一つで検査が完了する検査機シリーズ (6 ページ)

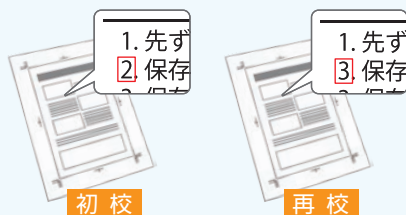
① DTP・修正

社外デザイン会社・メーカー、印刷会社内デザイン部署での制作・修正

デジタルデータ (PDF, TIFF, JPEG, AI, EPS など) を  で、紙に印刷された状態の物を  で表現しています。
シリーズの大きな特徴であるデジタル対アナログの検査が可能な工程もご確認ください。



修正指示通りに修正されているか？
修正指示の数が多い場合、修正し忘れる箇所も出て来るものです。



前回のデザインを使用し、一部改訂して新規のデザインを制作する場合、正しく改訂されたかのチェックにもご利用頂けます。

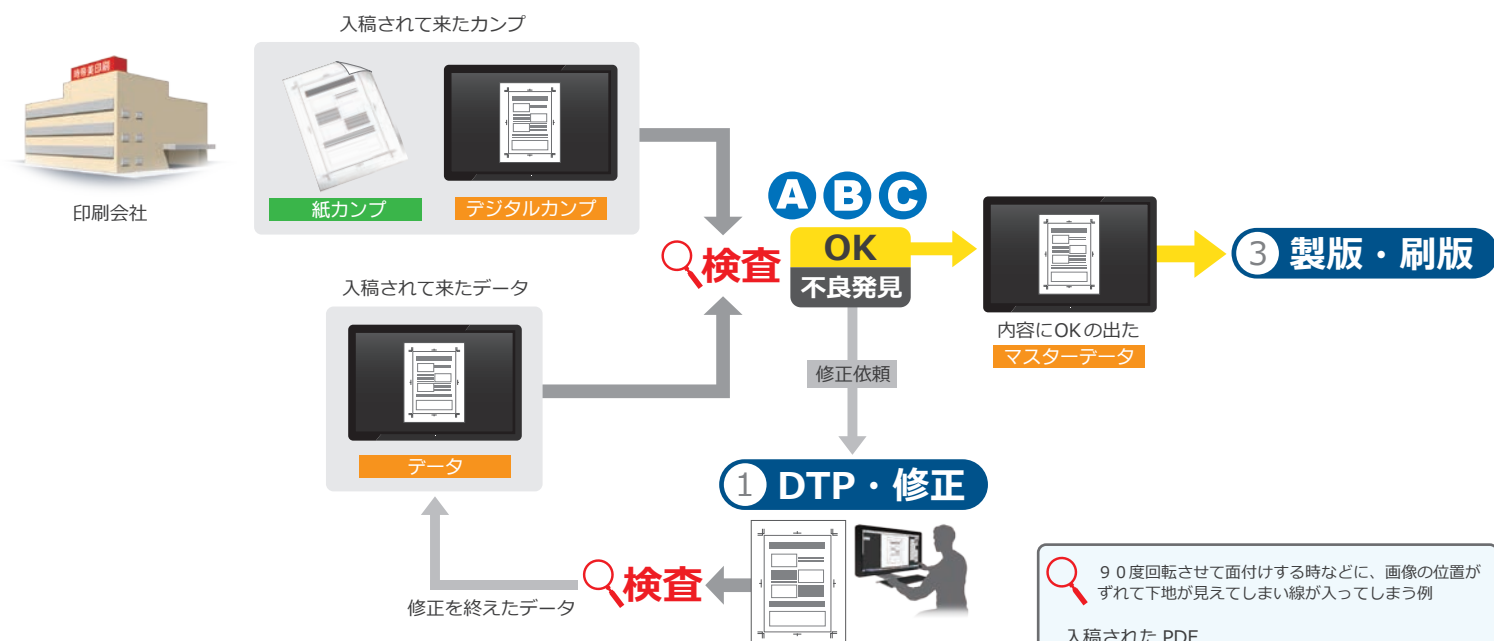


POINT

入稿するデータとカンブが間違っていれば、その後いくら検査しても間違いに気付くことは出来ません。
DTP の工程でしっかりと検査されていれば、間違えたまま最後の工程まで行き、仕上がって来たものを見て初めて間違いに気が付く事を防げます。

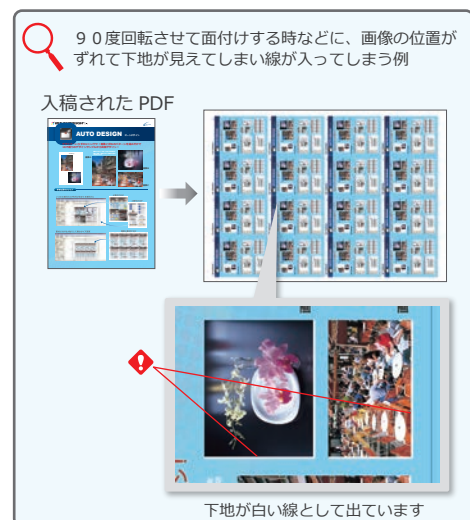
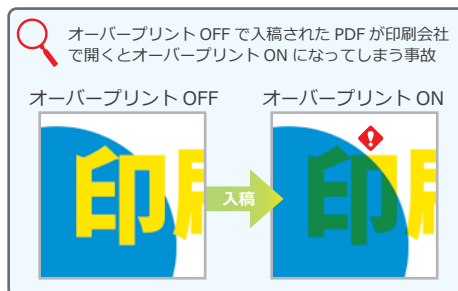
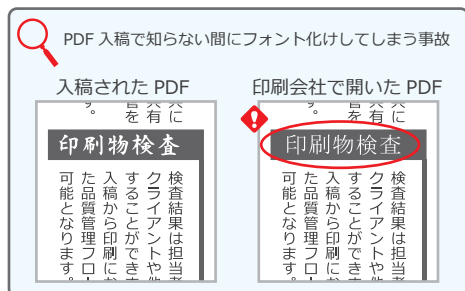
② 入稿

受け取ったデータとカンパとを照合し差異がないかをチェック



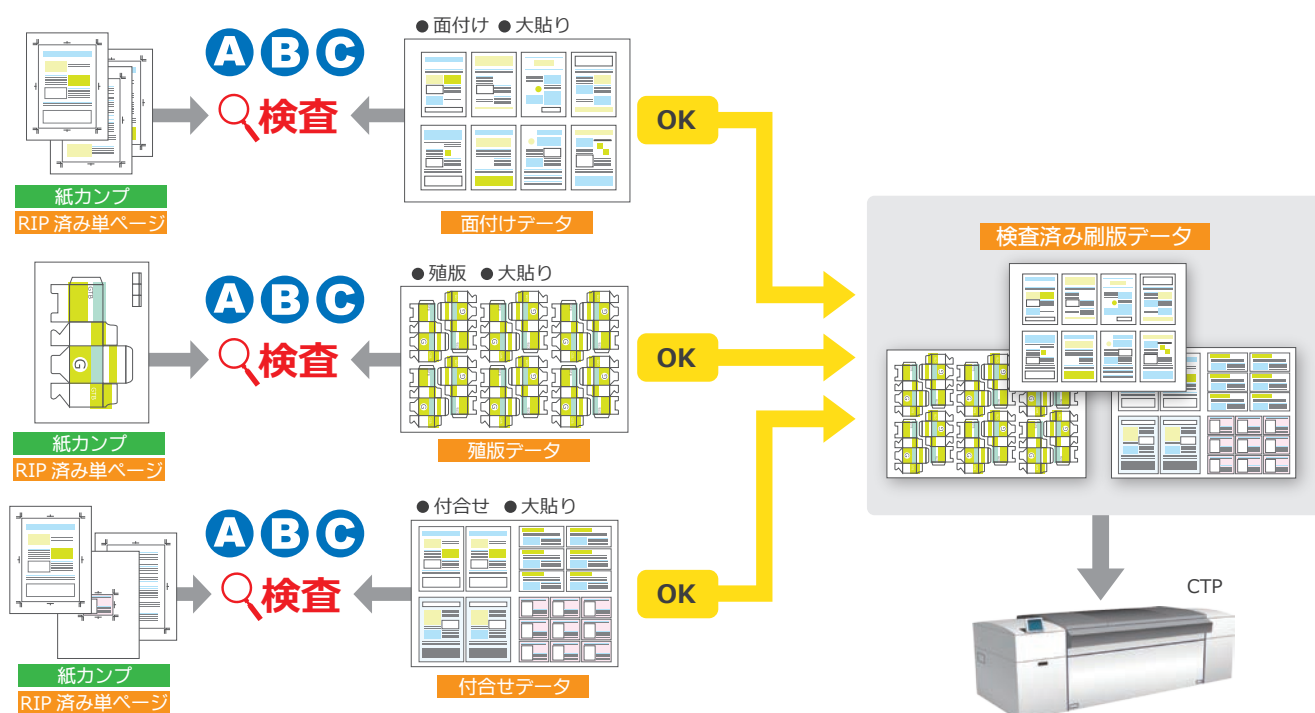
POINT

ここでのチェックはその後の工程に向けて正しい内容を保証しておきたい工程です。次の工程に引き渡す最終的なデータと、入稿されて来たカンパに違いが出てくる場合は、ここでその問題を全て発見、修正しておくことが重要となります。

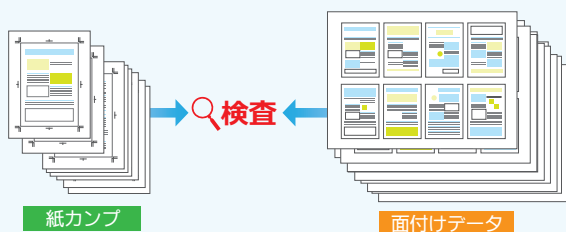


③ 製版・刷版

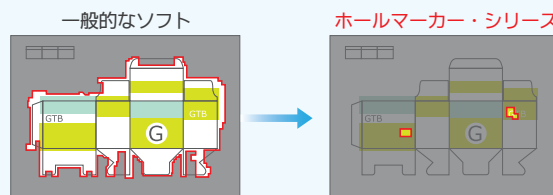
デジタル、紙、大量ページ、単面、面付け、大貼り、殖版等あらゆる組み合わせのチェックが必要です。



ホールマーカー・シリーズでは、簡単な設定のみで、1000 ページという大量ページのカatalogなども自動で検査可能です。あるお客様の例では従来 30 時間かかっていた類似のカatalog検査が、8 時間半程度に短縮されています。

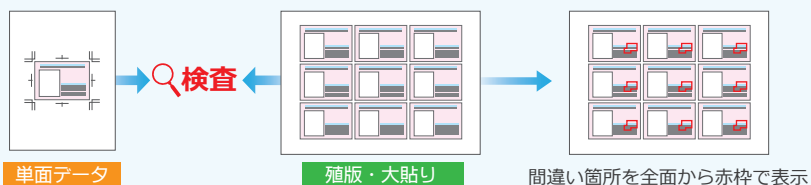


元データが分版される際、トラッピング処理等により色成分・形状が大きく変化します。一般的な検査ソフトのデジタル検査では、色成分・形状においてほとんどの部分をエラーとして検出しています。



ホールマーカー・シリーズでは高度な色空間の補正機能により色差に影響されず、見つけるべき不良を抽出することが可能です。

ホールマーカー・シリーズでは、単面のデータと面付けされた印刷物との検査では、自動で殖版全面から間違い箇所を検出し表示するので、間違いを確認しやすくなっています。



POINT

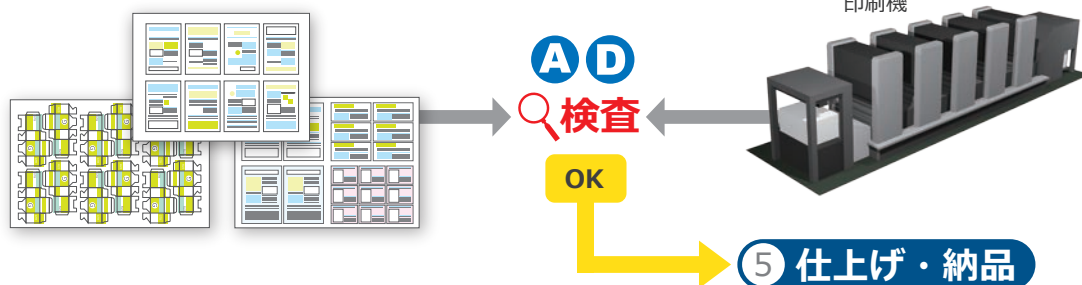
「面付けされたデジタルデータ」と「単ページの紙カンプ」を検査したり、「RIP 済みの単ページデータ」と「殖版データ」の比較、また「デジタル・紙・単面・見開き・面付け・殖版・大貼り」など、通常の検査ソフトが苦手とする製版・刷版での比較検査でも、ホールマーカー・シリーズは有効に活用して頂けます。

4 印刷

印刷されたものを一部抜き取り刷版データと比較

3 製版・刷版

検査済み刷版データ

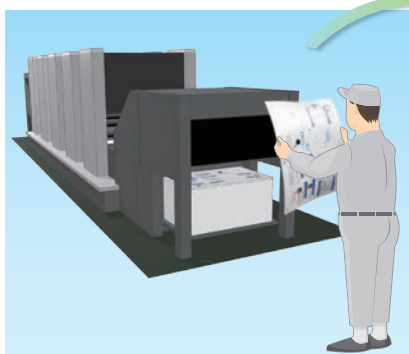
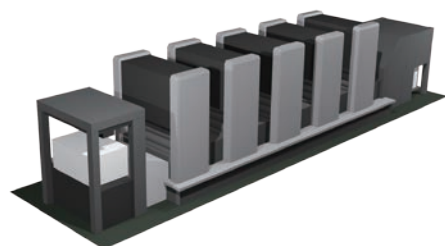


POINT

オペレーターの技量・習熟度に検査品質が左右される印刷工程での検査、ホールマーカー・シリーズを導入することで、誰でも同一のレベルで検査を行うことが可能となり、検査基準を一定に保つことが可能です。

もちろん「刷版データと印刷された紙」との検査では、検査エンジン【EyeMine】の特性により、今までに無い高品質な検査を保証。また、様々な種類の印刷機に対し、それぞれの印刷物の特徴に合わせ、検査精度を詳細に設定可能。安定した品質の印刷物を製造することが可能となります。

オフセット枚葉印刷機の場合

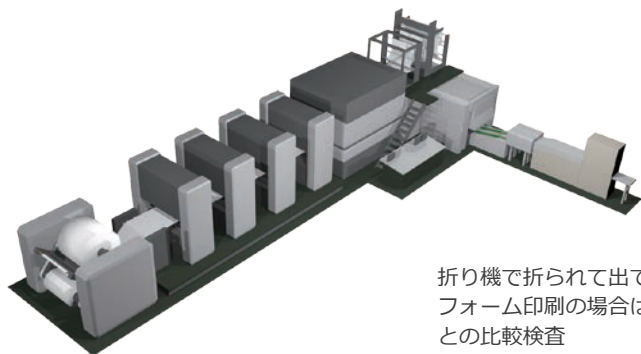


一枚を抜き取り
マスターデータとの比較検査

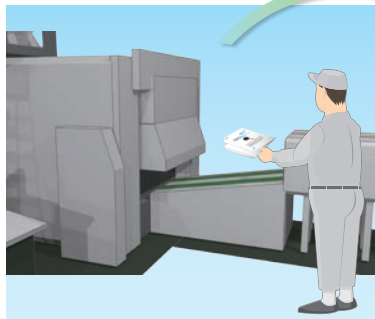


コレクトアイ一台で、複数の印刷機からの印刷物を連続検査して行くことも可能

オフセット輪転印刷機 フォーム印刷機の場合

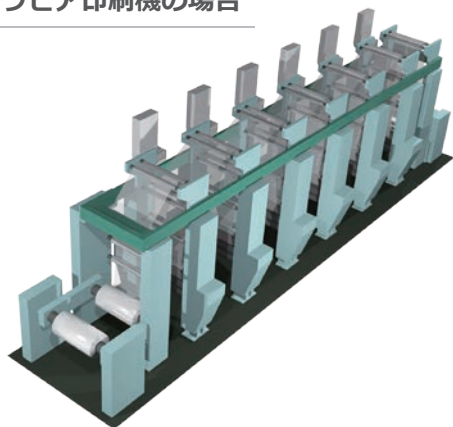


折り機で折られて出てくる印刷物を抜き取り、広げて検査台へ、
フォーム印刷の場合はミシン目で一部カットしてマスターデータ
との比較検査



それぞれの印刷物で検出したい不良に最適な
検査精度を設定・保存

グラビア印刷機の場合



印刷済みのロールから一部カットして検査台へ、
マスターデータとの比較検査

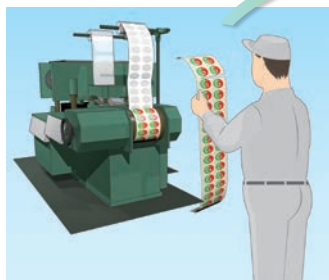


グラビア印刷で検出したい不良に最適な
検査精度を設定・保存

シール印刷機の場合



印刷済みのロールから一部カットして
検査台へ、マスターデータとの比較検査



シール・ラベル印刷で検出したい不良に
最適な検査精度を設定・保存

5 仕上げ・納品



A D
検査



POINT

印刷フローだけでなく、納品後のメーカーでの検査にもホールマーカー・シリーズは
活用して頂けます。納品されて来た印刷物と元のデザインデータとの内容チェック、
商品に適さない汚れのチェック、添付文書などの場合は、正しい商品に封入されてい
るか等もチェックして頂けます。

